三原市基本構想策定審議会

一般公募委員にインタビュー

島村圭子さん　勝原奎介さん

島村圭子さん

勝原奎介さん

上田隆政広報委員長

　このたび、三原市の今後10年間の将来像を決定する「第４次三原市長期総合計画」が策定されました。そこで、(社)三原青年会議所広報委員会では、この審議会に一般公募で選ばれ策定委員としてご活躍された勝原奎介さん（西宮町・会社員)・島村圭子さん（沼田東町・主婦）から、この計画が発表されたことにより、自ら審議会に参加され感じたことを通して、今後の市民協働のまちづくりについて考えてみました。

1　今回、三原市基本構想策定審議会公募委員に応募したきっかけ、動機はなんだったのでしょうか。

島村　自分の住む三原が元気で生き生きとしたまちになり、みんなが幸せになれるよう市民と行政とがパートナーシップを大切にしてゆかなければいけません。そう考えたとき、自分にできることは、何だろう、何をしなければいけないだろうかと思い、是非、この基本構想策定審議会の公募委員になって三原の将来を考えてゆきたいと思ったのがはじまりです。

勝原　今までわれわれ市民は行政に対して、要求ばかりをしてきたように思います。「市は何もしてくれない」といったスタンスでした。これからは、市民として出来ることは進んで参行ってゆかなければなりません。そう考えていましたので、公募を知って、是非、市民の声を将来のビジョンに生かせたらと応募しました。

上田　これからのまちづくりは市民と行政とがパートナーシップを大切にし、協働してまちづくりを行ってゆかなければいけません。今回、一般の市民から委員が選ばれたことで、行政として市民参加の実現へ向けての第１歩を踏み出され、評価すべきことではないのでしょうか。

2　審議会に参加されて、最初に思い描いていたことと、委員を終えての感じ方の差はありましたか。

勝原　私も意欲を持って真剣に会議に参加していました。あのような会議では、侃々諤々と行うものだと思ってましたが、議論が少なく残念でした。

島村　私も同じです。意見が少なかったですね。この審議会で三原の将来のビジョンを決めるわけでしょう。なのに黙っていらっしゃる委員の方がおられたということに、私たち一般市民の感覚とは少しずれているのかなぁと感じました。

上田　これでは何のための審議会なのかと感じられるのも仕方ないですね。セレモニー的な会議になってしまったのでは市民参加にならないですね。

3　審議会において、どこにポイントをおいて意見を述べられましたか

勝原　私は教育に関して特に関心がありましたので、意見も出しました。しかし、今回の計画の中には大きく取り上げられませんでしたが、開かれた信頼される公教育の実現を期待します。それから、福祉のまちといえば、福祉＝老人福祉になりがちですが、もっと次代を担っていく子どもたちに目を向けた福祉を大切にしていただきたいと思います。

島村　市民参加について感心がありましたので、市民参加条例等の整備をお願いしました。それから、情報の公開を活発に行っていただきたいです。

勝原　情報公開ですが、私が思うに、三原市のホームページをもっと有効活用して欲しいですね。例えば、今回の長期総合計画の実施計画が作成されると思いますが、これをホームページに掲載して、市民が誰でも、三原市が今後何をするのかいつでも見られて、チェックでき、意見が言えるシステムを作っていただきたいですね。

上田　われわれＪＣとしましても昨年から学校・家庭・地域が三位一体となって教育力を高め、子どもたちを育てていこうと活動をしています。次代を担う子どもたちをわれわれ大人が協力・連携を密にし、みんなで共に育んでゆかなければなりませんね。それから、情報発信としてホームページを充実させ、市民と行政との双方向コミュニケーションの構築ができれば市民の意識改革も進むでしょうね。

4　市民の代表として審議会に参加されてみて、気づかれたことは

勝原　審議会はセレモニーでなく、これからの10年間のビジョンを論じる場ですから特に若い人の参加が望まれると思います。市民の代表の数を増やしていただきたいですね。二人じゃ少なすぎます。それから、この計画の中に“目玉”が欲しかったなぁ。夢のあるねぇ。

島村　今回初めて市民から公募によって委員が誕生しましたが、行政の宣伝（アピール）のためだけに利用されたくはなかったですね。先程も申されましたが、意見、発言が少なすぎます。不思議なほど静かな会議でした。三原市の将来を決定する会議なのだから、もっと活発な議論を期待してました。

上田　審議会の委員の選任についても見直すといったことが必要なんでしょうね。市民代表の委員をもっと増やし、真の市民参加・協働が実現すればいいですね。静かな会議だったとおっしゃれましたが、各委員が三原市の将来を決定する会議なんだという自覚と責任をもって今後も望んでほしいですね。

5　同じ市民として三原市民に望むことは

島村　三原市民の責任として、行政にもっと関心を持たなければいけないと思います。元気な、そして人がどんどん集まってくるまちにするためには、私たち市民は行政に対して、要求ばかりするのではなく、市民と行政とのパートナーシップをつくり上げることが大切です。これは大変なことですけれど、一つ一つ確実に行い、この積み重ねが将来、すばらしいまち三原になるのではないかと思います。

勝原　全くその通りですね。市民参加ですばらしい、元気なまちをつくろうじゃありませんか。そのためには、市民はしっかりと勉強をし、力をつけ、市民力というものを築きましょう。

残念なことに、今回の第４次三原市長期総合計画の中には「合併」という文字が全くありませんでした。地方分権という日本の大きな流れと広島県が発表した合併パターンを全く度外視した三原市の今後10年間の基本構想というものは意味があるものなのか疑問が残ります。

市民協働によるまちづくりという部分では、今回初めて市民から公募という形で２名の三原市基本構想策定審議会委員が選出され、形はどうあれ市民の意見が反映されたということは意義あることだと思います。ただ、公募委員両名が言われていたように、本当に自分たちの意見が採用されたのか、議論をつくした結論としての基本構想であったのかどうかが一番の問題でないでしょうか。今後のみはらのまちづくりを考える上で大切なことは、一般市民が積極的に行政に参加できる市民参加条例づくり、より一層の情報公開を最優先課題として捉えていくことだと考えます。例えば、公募で参加希望のあった市民を、審議会の中に設置した小委員会に配置し、そこで市民の意見を集約することを行うといったみんなが参加できるシステムづくりが必要ではないでしょうか。

自分たちのまちのことは自分たちで考えていく市民参加型社会の構築が求められています。我々(社)三原青年会議所は今後も市民と行政が協働してまちづくりを行えるシステムの構築を目指してまいります。

第４次三原市長期総合計画

三原市では、この度、第４次三原市長期総合計画を策定されました。「定住のまち」「活力の都市」「交流の都市」の３つの理念のもと、三原市の将来像として「瀬戸内海に臨む『快適な暮らし』都市・みはら」を掲げ、その実現に向けて、「保健福祉学園都市構想」「瀬戸内海に臨む生活都市構想」「交通結節機能を活かした交流都市構想」以上の３つを重点構想と位置付け、施策を打ち出し、実行されることになります。

広域まちづくり研究会レポート　久井町　三原市　本郷町　瀬戸田町

http://www.netcy.co.jp/machiken/

合併まったなし!

一日も早く合併協議会の設立を目指そう!

～１市３町（久井町・瀬戸田町・本郷町・三原市）の枠組みとして～

▲第５回「広域まちづくり研究会」を６月25日(月)瀬戸田町で開催

１市３町（久井町・瀬戸田町・本郷町・三原市）での開催一巡

　去る６月25日(月)、第５回「広域まちづくり研究会」が瀬戸田町で開催されました。今回の瀬戸田町での開催により、久井・瀬戸田・本郷・三原を一巡したこととなります。

　この研究会の趣旨は、広域合併を通じて我々の地域を考えていこうというものです。研究会では、１市３町の多くの住民の生の声を聞き、空港のあるまちとして、山と海の自然が満喫できるまちとして、人にやさしい福祉のまちとして、職住近接の環境の良いまちとして久井町、瀬戸田町、本郷町、三原市の１市３町による広域行政の合併が望ましいと考えています。合併によるデメリット・課題もたくさん出ました。そのデメリットをメリットに変えてゆけるような地域（まち）づくりの為には住民がもっと声を上げ、活発な議論を重ねてゆくことが必要です。そうすれば、この地域（まち）が本当に住みよい、活気のある住民主導のまちに向かっていくのではないでしょうか。

一日も早い合併協議会の設立を

　その為には一日も早く１市３町で合併協議会が立ち上がり、行政・議会・住民が協働でまちづくりのシステムを考え、合併後のまちの将来像を積極的に議論していかなければなりません。協議会は、実際にどういう問題・弊害があるのか、公共料金がどうなるのか等を議論する場です。そして最終的には合併協議会でまちの将来像が見えてから住民の判断が必要となりますが、広島県内でも地域（まち）の生き残りを考え、合併協議会の設立が相次いでいます。また、リーダー（首長）自ら音頭を取り、合併に対して気運を高めているケースもあります。

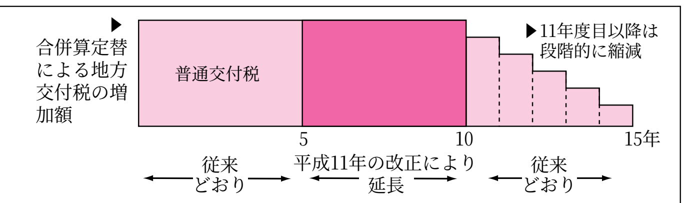
住民参加のまちづくりに向けて

　合併問題は、研究会に参加されている多くの人が思っているように「避けて通れない問題」であるとするならば、今後、研究会での議論を通して、みなさんが合併への不安をどれだけ取り除き、そして、合併問題を住民の生の声として、自分たちのまちの将来を考えていくことが必要です。この合併問題を機に自分たちの住んでいる地域（まち）を考え、住民参加のまちづくりへと繋げてゆかなければならないと考えます。

●合併市町村に対する財政措置等について

合併算定替とは

合併年度及びこれに続く10カ年度（従来は５カ年度）は合併しなかった場合の普通交付税額を全額保障し、合併しなければ地方交付税は１年目から縮減されるおそれがあるというもの。



今合併すれば10年間で約900億円の交付税が保障される

◎各市町の普通交付税（平成11年度の実績にて計算）　（単位：百万円）

	１年目	２年目	３年目	４年目	５年目	６年目	７年目	８年目	９年目	10年目	11年目	12年目	13年目	14年目	15年目
三原市	4,579	4,579	4,579	4,579	4,579	4,579	4,579	4,579	4,579	4,579	11年目以降は段階的に縮減				
本郷町	878	878	878	878	878	878	878	878	878	878					
久井町	1,706	1,706	1,706	1,706	1,706	1,706	1,706	1,706	1,706	1,706					
瀬戸田町	1,884	1,884	1,884	1,884	1,884	1,884	1,884	1,884	1,884	1,884					
合計	9,047	9,047	9,047	9,047	9,047	9,047	9,047	9,047	9,047	9,047					

7/24　第6回「広域まちづくり研究会」開催　参加者大募集

合併後のまちの将来像について多くの意見をお待ちしております!!

◆日時　7月24日(火) 18:30～20:00（受付開始18:00～）
◆場所　三原市中央公民館（三原市円一町２－３－１）
◆参加費　500円（簡単な飲み物を用意させていただきます）
◆内容　●第１回～第５回の研究会報告 ●自由意見交換会（合併後のまちの将来像について）

※合併に関する意見を多く出し合い、合併後のまちについて模索したいと思います。

応募及びお問い合わせ先　（社）三原青年会議所「広域まちづくり研究会」事務局　三原市皆実4－8－1
TEL：0848－63－3515 FAX：0848－62－1141 Eメール：mjc@tako.ne.jp 担当：地域主権実践委員会（大名、松浦）

エコショップ認定店探訪Part5

エコショップレポート

フジグラン三原店浅田香CS係長にインタビュー!

──エコショップ認定の感想
リサイクルに対する私たちの活動が、お客様から理解を得られているという証なので嬉しく思っています。

──エコショップ認定後のお客様の感想
お客様のリサイクルに対する意識が高まっていると感じています。

──お店として独自の取り組み
- 今年入社した新入社員はペットボトル再生生地の制服となっています。
- エコマーク・リサイクル商品を積極的に販売しています。
- 省エネルギーの照明を使っています。
- 排水の再利用施設を備えています。
- お買い物袋（リサイクルバッグ）を販売しています。

──今後の環境問題に関する取り組み
まだ、お客様の中には回収ボックスに汚れたトレーを入れていらっしゃる方がいます。回収の際、その汚れが他のトレーに移って非常に困っています。消費者への啓蒙活動に力を入れていこうと思います。

(有)チルダ
つぼみ
くし焼き 狄
(株)天満屋三原店
(有)東亜不動産
(有)ときわ薬局
とりごえ食品(株)
中川広告(中川の義さん)
(株)中原洋服店
中村電工(株)
なんばレディースクリニック
(株)日本旅行三原支店
(株)博善社
(株)原アルミ建材
半さん
翡翠
桧山幸三税理士事務所
スタンドひらた
広島電気工事(株)
(株)富久屋
(有)藤井鋼産
富士金属工業(株)
(株)富士鉄工所
(株)古川製作所
(株)ベルファニー
(有)本田石材工業
(株)まじま製麺
松井商事(有)
松尾社会保険労務士
(株)松田鐵店
ジュエリーサロンまつば
(有)マミー化粧品店
おしゃれサロンマルゼン
(株)ミツキー堂
(有)みどり書店
ミナミゴルフ(有)
三原カンツリークラブ
三原郷心会
三原グランドパレス
三原シティホテル
(株)三原スーパー
(株)三原ターミナルホテル
(有)三原塗装(株)
三原マツダ販売(株)
三宅石材店
むねひろ歯科クリニック
(株)森川観光グループ
保道建設(株)
(株)やっさ石油
ヤマサ建設(株)
(医)山田脳神経外科
マイエッグヤマナ
山本衣料(株)
(有)山本住設
(株)よしいけ
(有)吉岡建具製作所
由水酒販(株)
(株)読宣備後三原営業所
ラウンジ華
ラ・マンチャ
下町の居酒屋 六文銭
渡辺土地建物(有)
買・売・賃 わたべ
(学)伊達学園 月見幼稚園
(有)鶴田電設コンサルタント
天婦羅割烹もみじ
(有)土居写場
(有)童夢
ドコモショップ三原駅前店
(株)鳥徳
(有)中川書店
中間醸造(株)
(株)ナンバ洋服店
日本建設(株)
皆実町 (有)灰谷鉄工所
(有)花岡商会
(有)ハリカ三原店
ビジネス旅館 松野
ビストロSOBO
平木鶏卵
平田歯科医院
ファミリー歯科診療所
藤井建設(株)
フジ・エンタープライズ(有)
フジグラン三原
フラワーショップふじもと
ベスト電器三原店FC白須電機(株)
本郷建材工業(株)
正広パーキング
益谷建設(株)
(有)松浦生花店
(有)松田商事
(有)松野商店
(株)マネージメント・ブレインズ
スナックマリア
丸仁建設(株)
三和(株)
みどり幼稚園
皆実みどり幼稚園
(株)三原給食センター
三原金融協会
(株)三原国際ホテル
三原重量(有)
(有)三原スバル販売
エム・キャット三原テレビ
(株)三原美装社
ホンダプリモ三原皆実
三好印刷(株)
盛影塗装(株)
(株)もりみよう
ヤスミチ美容室
三原の味です名物です 献上銘菓 ヤッサ饅頭 ヤッサ饅頭本舗
スナック 優香
吉井ビジュアート(有)
寝・生活館よしなが
夜船司法書士事務所
ラウンジOB
ブライダルサロン(株)ラ・ベルフィーユ
理研設計(株)
和食処 登喜将
(有)渡辺商会

本誌"やっさもっさ"は、(社)三原青年会議所の自主財源とここに掲載の企業のご協力を得て発行しています。

iSグループ
(株)赤石硝子建材
浅田公認会計士事務所
あまの歯科・矯正歯科クリニック
(有)池本興業
糸崎木材(株)
(有)上田製版印刷所
上田正樹公認会計士事務所
(株)ウツミ
(株)ウラベゴルフ
(有)ゑびす家
桜南食品(株)
大東印刷(株)
やき肉 鳳
岡本電機(株)三原営業所
(有)お茶の平野園
ピアノラウンジ 帯
(有)笠下工務店
(有)カーズK&N
(株)勝村商店
レストランかねしょう
(株)カネツナ
(有)カメラのファースト
(株)ガルバ興業
関西薬品(株)
完山商店
スナックギフト
キリンビール共栄商事(有)
共和不動産(株)
グラフィック機材(株)
芸備燃料市内4S・S
(医)仁康会 小泉病院
晃栄不動産(有)
(医)里仁会 興生総合病院
(株)コグマヤ
(株)コパックス
(株)コマツ
あなたの町の幸崎郵便局
作田洋紙(株)
(有)さこだモータース
(株)サツキ工業
(株)澤井製作所
三陽環境管理(株)
山陽建設(株)
(株)システムイン国際
柴田産婦人科
島本建設(株)
ジャスコ三原ショッピングセンター
(株)住創
(株)正田文華堂
新宅建設(株)
スカイテック(有)
砂田歯科医院
(株)セイム
瀬戸内不動産(有)
ソナリア&ベッド館
(株)大建組
(有)大日ヘルスショップ
ダイヤ石油(株)三原給油所
(有)高山ペットショップ
(株)田中組三原支店
(株)タニグチ
Snack&Bar CHIKI YAN
(株)中国新聞サービスセンター
アイフルホーム三原店
Ⓐ赤谷木材(株)
朝日生命
居酒屋 あやか
スナック石垣
セブンイレブン三原駅前店
上田鉄工(株)
(株)上野建材センター
宇野税理士事務所
(株)エヌワイティグループ
(有)エール
大下建設(株)
旭菊水 大藤酒造(株)
大成土地家屋調査士事務所
(株)オギロパン
小野税理士事務所
カー・サザン
柏村印刷(株)
勝原不動産
勝村木材(株)
カネダ漢方薬品(株)
(有)上田商店
かもめしんきん
関西通商(株)
神本ワークビュー
(有)キダニ衣料
キャメル
共立電機産業(株)
(株)キヨーデン
啓誠塾
藝陽日日新聞社
広愛産業(株)
河城石材店
合同印刷機材(株)
小島洋紙(株)
小原製パン(株)
(合)小松家具店
(有)崎本不動産
(有)迫田工務店
佐竹工業(株)
(株)サービスセンター
三基工業(株)
中国新聞広告代理店三洋企画
山陽製粉(株)
スナックシティワン
柴原電機(株)
スナックジャイロ
シャトーラフォンロシェ
姿羅
順勝寺
如水館中学高等学校
(有)真和
(株)鈴木
(株)スミダ
誠和工業(株)
妹尾鉄工所
第一歯科医院
大同建設(株)
ダイフク興産(株)
(有)田尾石油店
田中運輸(株)
田辺製麸工場
(有)多森薬局
(有)中央地所
中国電設工業(株)